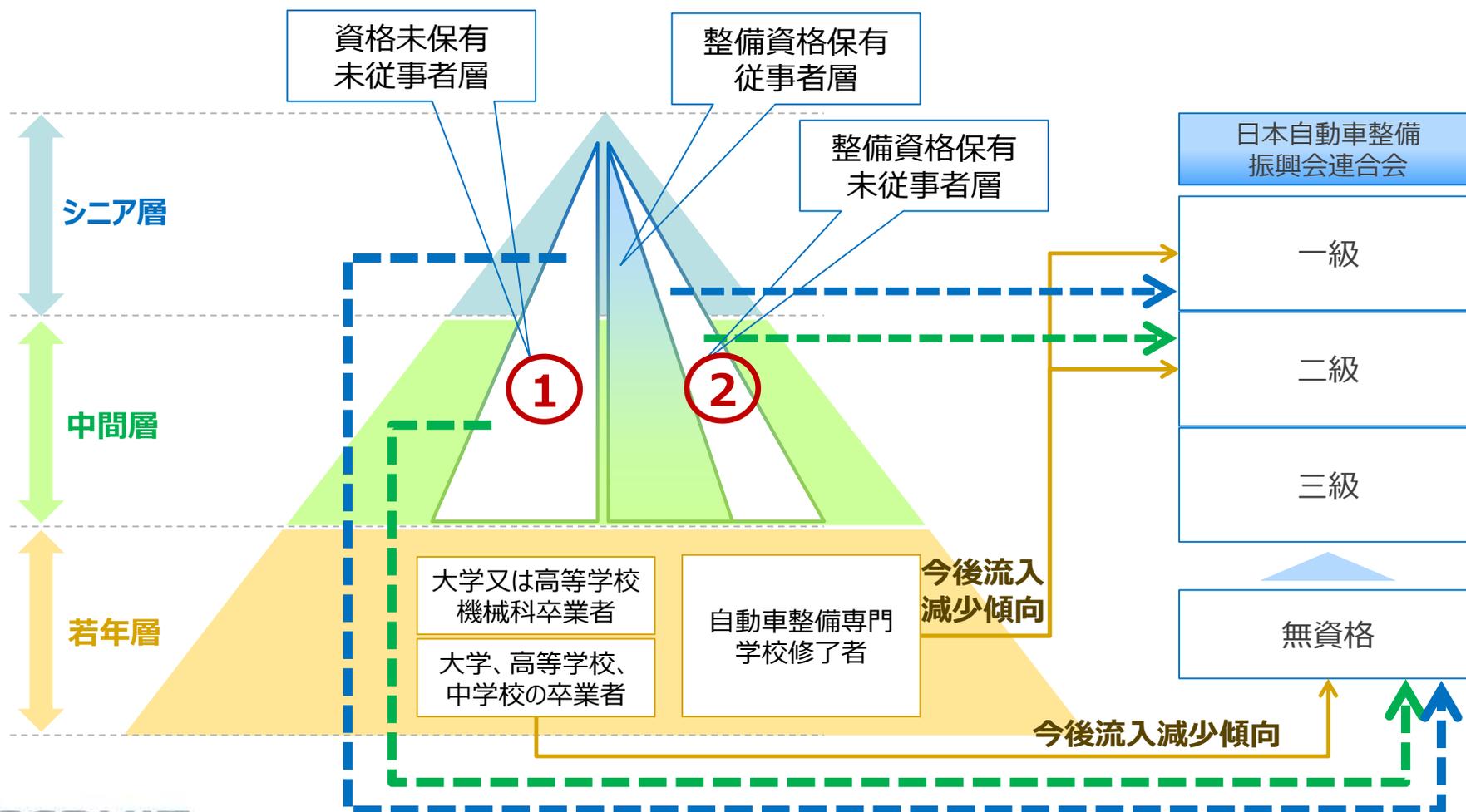


# 自動車整備業界 協議資料

## ■ 整備業の労働力確保（仮説）

### ◆ 中間層＋シニア層の従事者以外を労働力ターゲットとし、整備業への意識を調査

- ・人口ピラミッド問題の影響を受け、今後若年層の流入は減少傾向が推測される
- ・労働力のボリュームゾーンは、資格未保有で且つ未従事者と置き、意向調査を実施することで状況を可視化
- ・また、即戦力ゾーンである資格保有者で且つ未従事者についても、意向調整を実施し従事しない理由を可視化



## ■ 意識調査の概要

### ◆ 的確な打ち手を投入するためには、労働者側と企業側の意識を明らかにする必要がある

- ・労働者側に関しては、シニア・中間・若年層に対して経験と意向の4象限にて意識調査を実施
- ・企業側に関しては、仮説立証のため現状ヒヤリングと意識調査を実施
- ・整備業は資格保有有無がポイントとなる可能性があるため、聴取項目に入れ込むことが重要

#### 労働者側 意識調査

シニア・中間・若年層をターゲットに  
整備業への意識調査を実施  
(下記4象限調査)

	就業経験有	就業経験無
意向有		
意向無		

#### POINT

民間資格も含め、資格保有状況を聴取

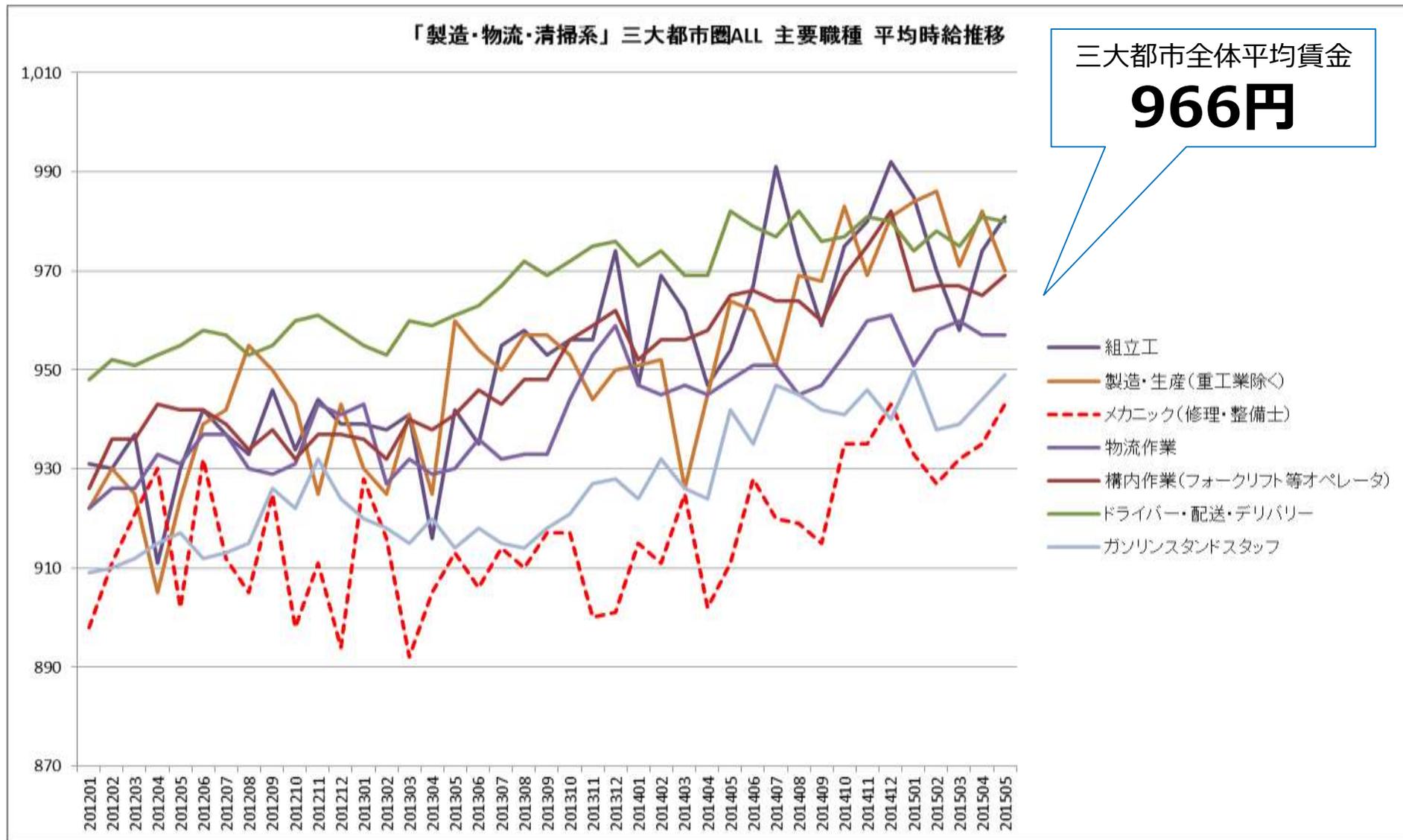
#### 企業側 ヒヤリング+意識調査

下記、項目を主に企業側の意識調査を実施

- ・中間層・シニア層の活用状況  
→資格保有状況も聴取  
→男女活用比率も聴取  
→外国人労働者比率も聴取
- ・次世代自動車対応状況の実態  
→新しい整備技術に対するスキル・ノウハウ習得状況  
→次世代自動車に向けた整備設備の充実状況  
→今後の次世代自動車に対する増減意識と投資意識

ギャップ分析を実施し、現状を把握  
把握した結果をもとに、打ち手を検討

# <参考> 職種別 平均時給推移



タウンワーク、フロムエーナビ掲載データを集計